文字入力

「区点コード一覧」について、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。

文字入力について

FOMA端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

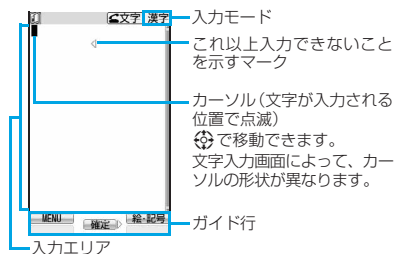
- 文字の入力方式には「かな入力方式」と「スロット入力方式」があります。
  - ・かな入力方式は、1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が切り替わります。☛P396
  - ・スロット入力方式は、スロット入力ボードに表示された文字から、入力文字を指定します。☛P355
  - ・スロット入力方式では、全角カタカナ、全角英字、全角数字は入力できません。
- 文字には「全角文字」と「半角文字」があります。全角文字や全角の空白、改行は、半角文字2文字分にカウントされます。半角文字では、濁点・半濁点も1文字分にカウントされます。
- 入力する文字の呼び出しかたがわからない場合などは、区点コードで入力できます。
- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字・第二水準漢字です。
- 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。
- 本書では最後に◉を押す操作も含めて「入力する」(操作文では「入力」)と表記しています。

文字入力画面の見かた

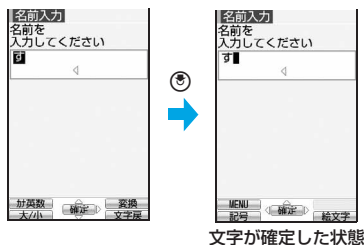
「全画面入力」と「インライン入力」の2種類があります。

- 入力欄によっては、選べる場合とどちらか一方しか利用できない場合があります。

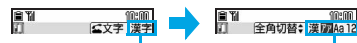
全画面入力

入力欄を選び◉を押すと、入力エリアが全画面表示されます。

インライン入力

入力欄を選び[1]～[9]、[0]、[*]、[#]を押し、文字を直接入力します。◉を押すと文字が確定します。

文字が確定した状態

入力モードを切り替える

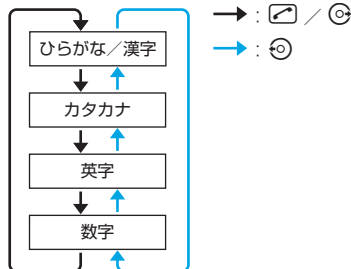
例 ひらがな／漢字モードから全角英字モードに切り替えるとき

1 **文字入力画面で[✓]**

入力モード(現在の状態)
漢字：ひらがな／漢字
全ｶﾅ：全角カタカナ※1
全英：全角英字※1
全数：全角数字※1
半ｶﾅ：半角カタカナ
半英：半角英字
半数：半角数字※1

入力モード(選択途中の入力モードが反転表示されます)
漢　：ひらがな／漢字
ア　：全角カタカナ※1
Ａ　：全角英字※1
１　：全角数字※1
ｱｧ　：半角カタカナ
Aa：半角英字
12：半角数字※1

※1：スロット入力方式では切り替えできません。

2 [カメラキー]または[右キー]で「Aa」を選ぶ

3 [上下キー]で「A」を選び[決定キー]

おしらせ

- 文字入力画面によって切り替えられる入力モードが異なります。
- ひらがなしか入力できないときの入力モードは「全かな」と表示されます。

入力方法を設定する　入力設定

1 [MENU][8][6][2][5]▶各項目を設定▶[完了]

入力方式：
「かな入力」または「スロット入力」を設定。
- 「スロット入力」に設定すると、以下の項目は設定できません。

入力予測：
予測変換候補の表示／非表示を設定。

自動カーソル：
カーソルが右側に自動移動する速さを設定。
遅い…約1.5秒後に移動
普通…約1秒後に移動
速い…約0.5秒後に移動
- 自動カーソル機能は、次の入力モードのときに有効です。
  - ・ひらがな／漢字
  - ・全角／半角カタカナ
  - ・全角／半角英字

自動カーソル機能によってカーソルが右に移動した後でも次の操作ができます。
- [＊]：濁点／半濁点を付ける
- [#]：大文字／小文字を切り替える
- [メール]：1つ前の文字に戻す

文字入力中に設定を変更する

- 文字を確定する前やデコメール装飾選択画面、インライン入力画面では、サブメニューは表示されません。

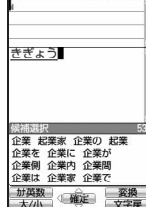
1 文字入力画面で[MENU]▶入力設定▶[1]～[3]

- 「かな入力」と「スロット入力」の切り替え：[1]
- 「入力予測ON」と「入力予測OFF」の切り替え：[2]
- 自動カーソルの移動時間の設定：[3]▶[1]～[4]

かな入力方式で文字を入力する　かな入力方式

文字を入力する　かな漢字変換

例 メール本文に「企業」と入力するとき

1 メール本文の入力画面で「きぎょう」と入力

き：[2]を2回▶[右キー]（自動カーソル機能によってカーソルが移動したときは必要ありません）
ぎ：[2]を2回▶[＊]
ょ：[8]を3回▶[#]
う：[1]を3回

つづく▶

■ **文字の消去：**[クリア]

■ **大文字と小文字の切り替え：文字入力直後に**[↩]

■ **文字に「゛」「゜」を付ける：文字を入力▶[＊]**

- 「゛」「゜」が付けられない文字のときは「゛」「゜」が全角で入力されます。

■ **1つ前の文字に戻す：文字入力直後に**[✉]

- 押すたびに、通常の文字入力順とは逆の順に文字が切り替わります（例：…→1→お→え→う→い→あ→1→…）。濁点や半濁点を入力したときは、切り替わりません。

■ **ひらがなのまま確定：ひらがなを入力▶操作3**

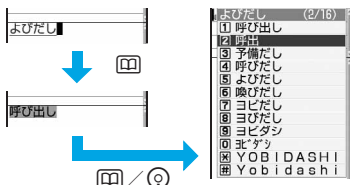
■ **カタカナや英数字などに変換：**[MENU]**▶変換候補を選び**●**▶操作3**

2 [📖]

- 予測変換候補が表示されていないときは、○でもかな漢字変換されます。
- 変換前の状態に戻す：[クリア]

■ **変換候補の一覧表示：**

[📖]を押しても目的の文字が表示されないときは、○またはもう一度[📖]を押すと変換候補が一覧表示されます。変換候補の一覧が複数ページあるときは、[✉]を押すと次ページ、[↩]を押すと前ページに切り替わります。○で変換候補を選び●を押すか、各候補に割り当てられている[1]～[9]、[0]、[＊]、[#]を押します。

3 ●

文字が確定します。

- 入力設定の入力予測を「ON」にしているときは「閉じる」を選択します。

■ **文字の挿入：**

○で挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ **文字の削除：**

- カーソルが入力文字の途中にある場合（例）：ドコモ▌太郎
  - [クリア]：カーソル位置の1文字を削除
  - [クリア]（1秒以上）：カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字を削除
- カーソルが入力文字の末尾にある場合（例）：ドコモ太郎▌
  - [クリア]：カーソルの左の1文字を削除
  - [クリア]（1秒以上）：すべての入力文字を削除

■ **改行：**[#]

- 入力欄によっては改行できない場合があります。

4 ●

文字入力が終了します。

複数の文節を一括変換する

- 全角で24文字まで変換できます。

例 「動物園に行きましょう。」と入力するとき

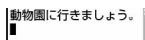
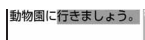
1 文字を入力▶[📖]

どうぶつえんにいきましょう。▌ → 動物園に行きましょう。

■ **全確定：**[MENU]

動物園に行きましょう。▌

■ **変換部分を確定：**●

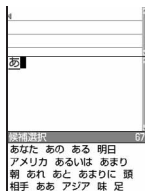
動物園に行きましょう。

■ **変換範囲を変更：**○

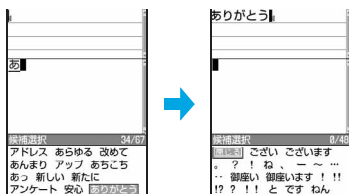
入力予測機能を使って文字を入力する

入力予測機能は、文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する予測変換候補が一覧表示される機能です。

- 次の単語や文字列が候補として表示されます。
  - ・標準搭載の単語
  - ・かな漢字変換で入力した単語
  - ・ダウンロード辞書で変換入力した文字列
  - ・単語登録した文字列
- 入力予測機能は、ひらがな／漢字モードのみで利用できます。インライン入力、スロット入力方式の場合は利用できません。

1 文字を入力

予測変換候補が表示されます。

- 1文字ずつ入力するたびに候補は絞り込まれます。

2 [Ⓞ]▶[✥]で候補を選び[●]

- 予測変換候補が選ばれているときは、次の操作ができます。

  [✉]／[☒]：前ページ／次ページ切り替え

  [📖]：かな漢字変換（予測変換候補は消えます）

  候補が選ばれている状態で文字を入力したときは、選ばれている予測変換候補が確定し、入力した文字の予測変換候補が表示されます。

3 閉じる

予測変換候補が消えます。

変換学習データをリセットする

予測変換候補に登録された変換学習データをリセットします。

1 [MENU][8][6][2][3]▶端末暗証番号を入力▶はい

顔文字・定型文を入力する

顔文字や、あらかじめ登録されている文、絵文字ことばを入力します。

例 顔文字を入力するとき

1 文字入力画面で[MENU]▶絵文字・記号・顔文字▶[3]

- 定型文の入力：文字入力画面で[MENU]▶定型文・区点・引用▶[1]

2 [1]～[9]

- 定型文のとき：[1]～[7]

- 顔文字の入力履歴が利用できるときは[1]を選択できます。
- 定型文を作成した場合は、定型文のときに[7]を選択できます。

3 [1]～[9]／[0]／[＊]／[#]

- 定型文の内容の確認：定型文を選び[📖]
- 顔文字の入力履歴は最大18件まで表示されます。18件を超えると、古いものから順に消去されます。

おしらせ

- 顔文字はひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。☛P398
- 定型文一覧☛P397

絵文字・記号を入力する

1 文字入力画面で[辞書]

絵文字1の一覧が表示されます。

履歴表示エリア（絵文字1、絵文字2、全角記号、半角記号の最初のページにだけ表示されます）

- [辞書]を押すと、絵文字2→絵文字D→絵文字1…と切り替わります。ただし、絵文字D はメール本文と署名編集の文字入力画面の場合のみ表示されます。
- 半角／全角記号の切り替え：[MENU]
- 複数ページの切り替え：[S]または[メール]
- 履歴表示エリアには絵文字または記号が最大10文字まで表示されます。10文字を超えると、古いものから順に消去されます。
- 絵文字Dは、マイピクチャの「デコメ絵文字」フォルダに保存されているときに表示されます。

2 絵文字・記号を選び[決定]

- 連続して入力できます。

3 [クリア]

おしらせ

● 一部の記号は、ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。

読み	入力できる記号
ぎりしあ	ギリシア文字
ろしあ	ロシア文字
すうじ	①～⑳、Ⅰ～Ⅹ
けいせん	罫線記号
きごう	上記を除く全角記号

● 文字入力画面のサブメニューからの操作：[MENU]▶絵文字・記号・顔文字▶絵文字／記号

- 絵文字や記号の一覧画面で[MENU]を押すと、絵文字1と絵文字2、絵文字D（メール本文と署名編集の文字入力画面の場合のみ）または半角記号と全角記号を切り替えられます。
- 絵文字D以外の絵文字や記号の一覧画面で連続して入力するときは[辞書]を押します。履歴表示エリアの上に連続入力エリアが表示され、絵文字の場合は10文字まで、記号の場合は全角10／半角20文字まで連続入力できます。[辞書]を押すと、連続入力エリアに表示されている絵文字または記号が確定し、本文中に入力されます。ただし絵文字Dは連続入力できません。選択した時点で確定します。また、次のかっこの左側（例：｛）を1つだけ選択した場合は、右側のかっこ（例：｝）も自動的に入力されます。
() [] {} 「」（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》「 」『 』【 】

● 絵文字は、ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。☛P402

● 絵文字や記号は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。

● プライバシーモード中（マイピクチャが「認証後に表示」の場合）は、文字入力画面で[辞書]を押してデコメ絵文字を表示してもダウンロードしたデコメ絵文字は表示されません。お買い上げ時に登録されているデコメ絵文字のみ表示されます。ダウンロードしたデコメ絵文字も表示するには、装飾選択画面で[アイコン]を選択してプライバシーモードを一時解除してください。

● メール本文に絵文字Dを挿入するとデコメールになります。

データを引用して文字を入力する

電話帳データや自局番号の登録内容、電卓の計算結果やバーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力します。

- 入力欄によっては、文字入力画面を全画面入力に切り替えて操作してください。

電話帳データの内容を引用する

- 電話帳の文字入力画面では、電話帳データを引用できません。

1 文字入力画面で[MENU]▶定型文・区点・引用▶[3]▶電話帳データを選び[決定]

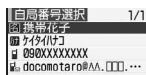
2 電話帳の内容を選び[決定]

- 内容が長い場合は、途中までしか表示されません。確認するときは、内容を選び[辞書]を押します。[決定]を押すと引用できます。

自局番号の内容を引用する

• 自局番号の文字入力画面では、自局番号を引用できません。

1 **文字入力画面でMENU▶定型文・区点・引用▶4**

2 **端末暗証番号を入力▶自局番号の内容を選び⊙**

• 内容が長い場合は、途中までしか表示されません。確認するときは、内容を選び📖を押します。⊙を押すと引用できます。

電卓の計算結果を引用する

• 引用できるのは、スケジュール帳とメモ帳の文字入力画面です。

1 **文字入力画面でMENU▶定型文・区点・引用▶5▶計算を行う▶⊙**

バーコードリーダーの読み取りデータを引用する

• 引用できるのは、iモードとフルブラウザのURL入力画面とiモード中またはフルブラウザ中の文字入力画面です。

1 **文字入力画面でMENU▶定型文・区点・引用▶5▶JANコードまたはQRコードを読み取る▶⊙**

読み取りデータの文字列が入力されます。

定型文を登録する 定型文登録

• 最大50件登録できます。
• 空白のみの定型文は登録できません。また、定型文に含まれる空白は次のように扱われます。
  ・文字列の前後の空白　：文字列の後の空白は無効※1
  ・文字と文字の間の空白：有効

※1：文字入力中の登録では、前後の空白は無視されます。

1 MENU 8 6 2 4 7

2 **<新しい定型文>**

定型文編集画面が表示されます。
• 登録済みの定型文の編集：定型文を選び⊙
• 登録済みの定型文の確認：定型文を選び📖▶編集するときは⊙

■ **定型文の削除：定型文を選びMENU▶はい**

3 **本文欄▶定型文を入力(全角64／半角128文字まで)▶📖**

定型文は「ユーザ作成」に登録されます。
• 登録済みの定型文を編集したときは確認画面が表示されます。

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して定型文に登録します。

1 **文字入力画面でMENU▶単語・定型文登録▶2**

2 **開始位置を選び⊙**

• 全文を選択：MENU⊙▶操作4
• メール本文の入力画面で全文を選択：✉▶操作4

3 **終了位置を選び⊙**

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。
• 開始位置から文頭までを選択：MENU⊙
• 開始位置から文末までを選択：📖⊙

4 📖

おしらせ

● 文字入力画面で未入力のとき、またはメール本文入力中で変換が確定していないときに登録操作を行うと、定型文編集画面が表示されます。
● 定型文が最大登録件数に達し、新たに登録する場合は、一覧から登録データを削除するか、登録済みの定型文を編集してください。

コピー／切り取りして貼り付ける

文字コピー

文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行い、別の文字入力画面に貼り付けます。

- コピーまたは切り取った文字は、新たにコピーまたは切り取りを行うか電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けることができます。

文字をコピー／切り取りする

例　文字をコピーするとき

1 文字入力画面でMENU 1

- 文字の切り取り：文字入力画面でMENU 2
- メール本文の入力画面からの操作：MENU▶コピー／切り取り

2 開始位置を選び●

- 全文を選択：MENU●
- メール本文の入力画面で全文を選択：✉

3 終了位置を選び●

選択した範囲の文字がコピーされます。

- 開始位置から文頭までを選択：MENU●
- 開始位置から文末までを選択：📖●

文字を貼り付ける

1 文字入力画面で、貼り付ける位置を選びMENU 3

- メール本文の入力画面からの操作：MENU▶貼り付け

おしらせ

- コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しないときは、貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に改行を含む文字列を貼り付けた場合は、改行が空白に置き換えられます。
- 貼り付けや定型文入力などで、最大文字数を超えた場合、超過分は削除されます。

区点コードで入力する　区点コード入力

区点コード一覧にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

- 区点コード一覧については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

1 文字入力画面でMENU▶定型文・区点・引用▶2▶4桁の区点コードを入力▶●

- メール本文の入力画面からの操作：MENU 5 2

よく使う単語をあらかじめ登録する

単語登録

文字の変換のときに、登録した読みで簡単に呼び出せます。

- 最大200件登録できます。

1 MENU 8 6 2 1

2 <新しい単語>

- 登録済みの単語の編集：単語を選び●
- 登録済みの単語の確認：単語を選び📖▶編集するときは●

■ **単語を削除：**
①**削除する単語を選びMENU**
②**削除**
- 全件削除：すべて削除

3 単語欄▶登録する単語を入力（全角12／半角24文字まで）

4 読み欄▶読みを入力（全角8文字まで）

- ひらがなのみ入力できます。

5 📖

- 登録済みの単語を編集したとき：上書き登録または新規登録

文字入力

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して単語登録できます。

1 文字入力画面でMENU▶単語・定型文登録▶1

2 開始位置を選び◉

- 全文を選択：MENU◉▶操作4
- メール本文の入力画面で全文を選択：✉▶操作4

3 終了位置を選び◉

選択した範囲の文字が単語欄に表示されます。

- 開始位置から文頭までを選択：MENU◉
- 開始位置から文末までを選択：📖◉

4 読みを入力して登録

- 操作方法☛P354「よく使う単語をあらかじめ登録する」操作4以降

おしらせ

- 文字入力画面で未入力のとき、またはメール本文入力中で変換が確定していないときに登録操作を行うと、単語編集画面が表示されます。
- 読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字を入力した場合は、登録できません。
- 次の文字が読みの先頭にある場合は、登録できません。
  を、ん、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょ、ゎ、ー（長音）、゛（濁点）、゜（半濁点）
- 読みに空白は入力できますが、登録後に削除されます。
- 同じ読みの単語は、最大5つ登録できます。さらに登録する場合は、読みを変更して登録してください。

ダウンロードした辞書を使用する

ダウンロード辞書

ｉモードのサイトなどからダウンロードした辞書を文字変換用に使用できるようにします。

- 最大5件の辞書を使用できます。
- 辞書のダウンロード方法☛P154

1 MENU8622▶使用する辞書を選び📖

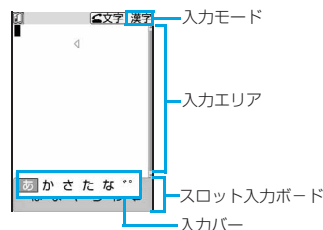
■ **ダウンロードした辞書の情報を表示：**
MENU8622▶辞書を選び✉

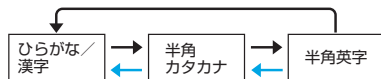
■ **ダウンロードした辞書を削除：**
MENU8622▶辞書を選び✉▶はい

スロット入力方式で文字を入力する

スロット入力方式

スロット入力ボード（上下2段の入力バー）に表示された文字から、◎を使って入力文字を指定します。

- スロット入力方式で入力するには、入力方式の設定が必要です。☛P349
- スロット入力方式では予測変換機能は利用できません。
- 入力バーの文字割り当て一覧☛P396

- ✆を押した後は、以下の操作で入力モードが切り替わります。

→：✆／◎　→：◎

- 入力方式を「スロット入力」に設定していても、インライン入力時は「かな入力」になります。
- スロット入力ボードで操作している場合に、入力エリアの操作（文字の削除やカーソル移動など）をするときは✉を押します。スロット入力ボードの操作に戻すときは再度✉を押します。

例 メール本文に「企業」と入力するとき

1 メール本文の入力画面で「きぎょう」と入力

き：[→]を1回▶[↓]を1回▶[決定]
ぎ：[決定]▶[→]を4回▶[決定]
ょ：[切替]▶[→]を2回▶[↑]を2回▶[決定]
う：[→]を4回▶[↓]を2回▶[決定]

- 上段と下段の入力バーの入れ替え：[切替]
- ひらがなのまま確定：[MENU]
- メール本文の入力画面では、[1]～[9]、[0]、[*]を押すと、スロット入力ボード が表示されます。

2 [辞書]

変換されます。

企業

- 変換方法はかな入力方式と同じです。
- 変換前の状態に戻す：[クリア]

3 [決定]

文字が確定します。

4 [メール]▶[決定]

文字入力が終了します。

- [MENU]▶「編集終了」を選び[決定]を押しても同様に操作できます。

文字入力